

耐震性地下貯水槽

(鋼板製エポキシ樹脂ライニング施工)

水質試験・検査結果

設置場所：秦野市民文化会館（神奈川県秦野市）

容量：100m³

設置年月：昭和55年3月

検査日：平成8年10月17日（設置後16年経過）

使用状況：設置から水は交換していないが、年1回正月の消防出初め式で2m³程度の水を使用し、その都度水道水を補充している。

検体の種類：1）原水・・・水槽から直接採取したもの

2）処理水・・・水槽から濾過器を通して採取したもの

成績書の判定：

防火用水として保存されていた水のため、水道法に基づく水質基準には当てはまらないとの考えから、成績書の判定の欄は斜線になっております。今回の試験では遊離残留塩素が残っていないという点を除いては水質基準内にあるという結果が得られました。

水質検査状況



1. 秦野市市民文化会館



2. 100トンの耐震性地下貯水槽



3. 貯水状態
貯水は透明で澄んでおり底まで見える。



4. 原水採取 1



5. 原水採取 2



6. 原水採取 3
検査機関指定の滅菌済み容器を使用。



7. 濾過器(シグナス)のセッティング 1



8. 濾過器(シグナス)のセッティング 2
セッティング完了まで5分



9. 吸水ホース投入



10. 採取前に暫く
放水する



11. 処理水の採取



12. 採取された原水・処理水



水質試験・検査成績書

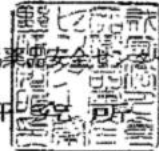
食薬セ研発第96-水0408号-1

平成8年10月25日

日本容器工業(株) 殿

財団法人 食品薬品安全センター

桑野研



平成8年10月17日付をもってご依頼のあった検査の結果はつぎのとおりです。

採水年月日	平成8年10月17日	採水場所	桑野市立文化会館	
検体の種別	1. 化学 2. 細菌	防火用水	原 水	水道法に基づく 試験検査項目 13項目
検 査 項 目	成 績		水 質 基 準	
一 般 細 菌	50	1 ml中	100/ml以下	
大 腸 菌 群	不検出		検出されないこと	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	3.5	mg/l	10 mg/l 以下	
鉄	0.03	mg/l 未満	0.3 mg/l 以下	
塩 素 イ オ ン	6.9	mg/l	200 mg/l 以下	
カルシウム・マグネシウム等(硬度)	92.5	mg/l	300 mg/l 以下	
有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	0.5	mg/l	10 mg/l 以下	
pH値	7.8		5.8 ~ 8.6	
味	異常なし		異常でないこと	
臭 気	異常なし		異常でないこと	
色 度	1 度未満		5 度 以下	
濁 度	0.5 度未満		2 度 以下	
遊 離 残 留 塩 素	0	mg/l	0.1 mg/l 以上(遊離)	
判 定	水道法に基づく水質基準に			
備 考				

(註) 1. 水質基準は厚生省令第69号による
2. 遊離残留塩素は水質基準適否に含まない



水質試験・検査成績書

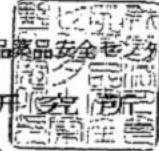
食薬セ研発第96-水0408号-1

平成8年10月25日

日本容器工業(株) 殿

財団法人 食品薬品安全センター

秦野研究所



平成8年10月17日付をもってご依頼のあった検査の結果はつぎのとおりです。

採水年月日	平成8年10月17日	採水場所	秦野市立文化会館	
検体の種別	1. 化学 2. 細菌	防火用水 処理水		水道法に基づく 試験検査項目 13項目
検査項目	成績		水質基準	
一般細菌	0 1 ml中		100/ml以下	
大腸菌群	不検出		検出されないこと	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	0.7 mg/l		10 mg/l以下	
鉄	0.03 mg/l未満		0.3 mg/l以下	
塩素イオン	15.3 mg/l		200 mg/l以下	
カルシウム・マグネシウム等(硬度)	91.5 mg/l		300 mg/l以下	
有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	0.3 mg/l		10 mg/l以下	
pH値	6.2		5.8 ~ 8.6	
味	異常なし		異常でないこと	
臭 気	異常なし		異常でないこと	
色 度	1 度未満		5 度以下	
濁 度	0.5 度未満		2 度以下	
遊離残留塩素	0 mg/l		0.1 mg/l以上(遊離)	
判 定	水道法に基づく水質基準に			
備 考				

- (註) 1. 水質基準は厚生省令第69号による
2. 遊離残留塩素は水質基準適否に含まない

耐震性地下貯水槽

(鋼板製エポキシ樹脂ライニング施工)

水質試験・検査結果

設置場所：上尾幼稚園（埼玉県上尾市）

容量：20m³

設置年月：昭和58年12月

検査日：平成13年8月9日（設置後17年経過）

使用状況：

設置から水は交換していない。設置場所は園内の校庭で今回盛土をするため、耐震性貯水槽のネック部の嵩上げ工事に伴い、水槽内の水の入れ替えを行った。

検体の種類：1) 原水・・・水槽から直接採取したもの

2) 新規投入水・・・槽内洗浄、殺菌後、消火栓より水道水を投入し
貯水したもの

成績書の判定：

貯水槽内の原水は目視でも透明度が高く、また臭いも無く非常にきれいな水だった。原水を水質検査した所、一般細菌2個/mあったが基準値100以下をクリアしていた。また、ほかの項目についても基準値を満たし、水道法の水質基準にも適合する結果であった。

水質検査結果報告書



The Knights

上尾幼稚園 様

1. 検体種類 水道水 (清掃前)
2. 検査目的 水道法に基づく水質基準の適否
3. 採取場所 水槽内
4. 採取月日 平成 13 年 8 月 9 日
5. 収集区分 持込
6. 特記事項
※収集及び持込試料の場合、上記内容は依頼者の申し出により記入しました。
7. 検査月日 平成 13 年 8 月 11 日 ~ 平成 13 年 8 月 16 日

8. 水質結果

測定項目	測定値	単位	基準値
一般細菌	2	個/㎖	100 以下であること。
大腸菌群	不検出		検出されないこと。
硝酸性窒素および亜硝酸性窒素	1.9	mg/l	10 以下であること。
塩素イオン	31.4	mg/l	200 以下であること。
有機物等 (過マンガン酸カリウム消費量)	0.2 未測	mg/l	10 以下であること。
pH値	7.2		5.8 以上 8.8 以下であること。
味	異常なし		異常でないこと。
臭気	異常なし		異常でないこと。
色度	2	度	5 以下であること。
濁度	0.5 未測	度	2 以下であること。
残留塩素	0.1 未測	mg/l	
アンモニア性窒素	0.1 未測	mg/l	
	- 以下余白 -		

9. 判定 上記の検査結果は、水道法の水質基準に適合する。

10. 検査方法 平成4年12月21日 厚生省令第69号
平成 13 年 8 月 11 日依頼があった試料の検査結果は、上記の通りであったことを報告します。

平成 13 年 8 月 16 日

水道法第20条に基づき(水質検査機関、厚生労働大臣指定第81号
登録医薬品等(水質検査業) 埼玉県11水第51-13号
内藤環境管理株式会社
埼玉県さいたま市大学区太田205-1 電話: 048-338-0015
TEL: 048-887-2590 (代販) FAX: 048-888-2817
水質検査実施者 関口 和弘



水質検査結果報告書



上尾幼稚園 様

- 1. 検体種類 水道水 (清掃後)
- 2. 検査目的 水道法に基づく水質基準の適否
- 3. 採取場所 水槽内
- 4. 採取月日 平成 13 年 8 月 9 日
- 5. 収集区分 持込
- 6. 特記事項
※収集及び持込試料の場合、上記内容は依頼者の申し出により記入しました。
- 7. 検査月日 平成 13 年 8 月 11 日 ~ 平成 13 年 8 月 16 日

8. 水質結果

測定項目	測定値	単位	基準値
一般細菌	0	個/ml	100 以下であること。
大腸菌群	不検出		検出されないこと。
硝酸性窒素および亜硝酸性窒素	1.4	mg/l	10 以下であること。
塩素イオン	24.8	mg/l	200 以下であること。
有機物等 (過マンガン酸カリウム消費量)	0.5	mg/l	10 以下であること。
pH値	7.4		5.8 以上 8.6 以下であること。
味	異常なし		異常でないこと。
臭気	異常なし		異常でないこと。
色度	2	度	5 以下であること。
濁度	0.5 未満	度	2 以下であること。
残留塩素	2.5	mg/l	
アンモニア性窒素	0.1 未満	mg/l	
	- 以下空白 -		

9. 判定 上記の検査結果は、水道法の水質基準に適合する。

10. 検査方法 平成4年12月21日 厚生省令第69号

平成 13 年 8 月 11 日依頼があった試料の検査結果は、上記の通りであったことを報告します。

平成 13 年 8 月 16 日

水道法第20条に基づき(水質検査機関、厚生労働大臣指定第81号
登録)環境検定試験水質検査員 埼玉県11水第51-13号

内藤環境管理株式会社

埼玉県さいたま市大字太田産205 (事務所) 電話 238-0016
TEL: 048-887-2590 (代表) FAX: 048-886-2817

水質検査実施者 関口 和弘



エヌ・ワイ・ケイ独自のエポキシ樹脂「NE-204・NE-508」

と汎用エポキシ塗装との比較

項目	NE-204	NE-508	汎用 エポキシ塗装	備考
共通項目	エポキシ樹脂 ベースで 2液混合型	エポキシ樹脂 ベースで 2液混合型	エポキシ樹脂 ベースで 2液混合型	主剤と硬化剤の組み合わせでエポキシ樹脂の種類はピンからキリまでできる。
硬化条件	焼付硬化型 120℃4時間	常温硬化型	常温硬化型	
使用希釈剤	希釈剤(溶剤)は 使わない。	希釈剤(溶剤)は 使わない。	塗布しやすい 粘度まで溶剤で 希釈する。	
施工方法	ホットエアレススプレー工 法	ホットエアレススプレー 工法	スプレー工法、ロー -塗り、刷毛塗り	溶剤入りのものは一度 に厚塗りでできない。
施工回数	1~2回	1~2回	3~6回	
膜厚	400~1200μm	400~600μm	200~400μm	
ピンホールテスト	ドライスパークテスト 4000~12000V	ドライスパークテスト 4000~6000V	ドライスパークテスト 1000~2000V または 湿式ピンホールテスト	被膜の緻密性が違う
ガラス転移点	50℃	100℃	40~50℃	
鉛筆硬度	6H	5H	F~2H	
接着力	500kg/cm ²	400kg/cm ²	100~200 kg/cm ²	
総合評価	耐水性に非常に 優れている	耐水性に優れて いる	耐水性に劣る	

* NE-204・NE-508：弊社開発の無溶剤加熱硬化型エポキシ樹脂

NE-204：タンク工場製作品の防食ライニングに使用

NE-508：タンク現地組立製品の防食ライニングに使用

鋼製タンクは防錆が命です！

しっかりとした防錆仕様が長期的にわたる緊急時の水の確保に貢献します。